

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ピース可児		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2026年12月22日		～ 2026年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育・ケアの質、関わり方。	・毎日の支援や関り、ケアの様子を振り返り、さらに安心して楽しんでいただける等、より良い支援に繋がるようにしています。どの利用者様も愛されている安心感を得ながら過ごせるような関わり方を大切にしています。	・保護者様や園などから利用者様の様子を教えていただくことを継続し、好きなこと頑張りたいことを楽しく行えるような支援を継続していきます。
2	・相談しやすい環境	・保護者様からのお子さまに関する相談はもちろん、職員間でも報告・連絡・相談は密に行い、話しやすい環境を意識しています。	・伝えやすい・話しやすい環境を心がけ、これまでの支援や対応をより丁寧に行っていきます。
3	・季節を感じる取り組みが充実している。	・季節を感じることでできる製作活動の取組 ・お花見やハロウィン、クリスマスなど季節に合わせた行事	・室内だけでなく外出行事を通して屋外で季節を感じることでできる取り組みを増やしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動内容が固定化されることなく、ご利用者様に合わせ様々な活動内容を取り入れていく。	・ご利用者様の様子を見ながらプランを組み立てていますが、より一層活動の目的を保護者の方に伝えていくことや活動のバリエーションを増やしていくことが必要と考えています。	・アセスメント内容の共有を強化 ・個別配慮の方法・アイデアの抽出 ・支援の段階のモニタリング
2	・各職員のタスク状況を互いに理解する。	・ミーティングなどで業務の確認ができています。より細かく互いに把握していきたいと考えています。	・タスク状況の見える化 ・業務の効率化 ・職員の協力体制はできている。事業所の業務を職員全体が総合的に知っていく。
3	・保育所や認定こども園、幼稚園との交流やその他地域で他の子どもと活動する機会がないこと。	・事業所近くの公園での近隣の方との交流はございますが、現在、幼稚園、保育園、認定こども園に通っているお子さんが当事業所をご利用されていることから、今は機会は設けておりません。	・ご要望をいただいた際は、検討していきたいと思ます。